

## 令和5年度 林業試験研究推進計画書

<b>1 課 題 名</b>	(大項目)	中山間対策（特用林産の振興）		
	(小項目)			
	(課題名)	イタドリの品種選抜に関する研究		
<b>2 研究期間</b>	令和3～7年度	<b>3 総括責任者</b>	森林経営課 黒岩 宣仁	

### 4 背景と目的

イタドリは高知特有の食文化として知られ、栽培は容易で手間がかからず、過疎化と高齢化で耕作放棄地が拡大する中山間地域の換金作物として期待できる。また、特有の食味に加えて最近では健康食品としての優れた機能性が解明される一方、地産外商の取り組みによって県外からも高い評価を得て今後の展開が期待されている。

これまでのイタドリの供給は、ほとんどが天然採取であったが、今後、県外に向けた食品として増産を実現するには、食の安全性や商品としての均一性を保つことが重要であり、それには栽培に加えて、優良系統の選抜と普及が必要となる。

一方、高知市鏡地区では、イタドリの栽培に以前から着手し、品質の高い優良系統を保持しており、現在県では、この系統を普及させて増産を進めているところであるが、県内の優良系統はこの1系統のみで、より多収性の高い系統が求める声がある。今後、県全域から有望な系統を収集し、その中から優良な系統が選抜できれば、品種の選択と品質の向上及び増産が可能となり、特用林産を通じた中山間地域の所得向上と地産外商が推進できると考えられる。

### 5 到達目標

食品加工に向けた規格化と生産性の向上に対応できる優良系統の選抜

### 6 研究年次計画

試 験 計 画		試験年度	担当者
試験項目・試験内容			
1. 選抜目標の設定		R3	森林経営課 黒岩宣仁 山崎敏彦
1) 選抜目標の設定 選抜目標を食品加工者及び生産者、育種の専門家等の協力をえて協議し決定する。		R3	
2. 優良系統候補の収集		R3	
1) 優良系統候補の収集 栽培保存圃場を整備し、120系統を目標に四国森林管理局等の協力をへて選抜目標に適合した候補個体を県内各地から収集する。		R3	
2) 個体情報及び生育地情報の収集 採集地情報、個体特性や特性の情報を記録する。		R3	
3. 試験用個体の増殖・育成		R3	森林経営課 黒岩宣仁 山崎敏彦
1) 収集した親株から採取した挿し木または根茎により1系統につき10個体をポットで増殖する。		R3	
4. 一次選抜		R4	
1) 第二回検討会を開催し、保存した親株を選抜目標に照合して評価し30系統程度を選抜する。		R4	
2) 選抜した系統の苗1系統につき10個体を均質な畑に植え付け育成する。		R4～R7	
5. 計測と二次選抜		R4～R7	森林経営課 黒岩宣仁 山崎敏彦
1) 苗を3年間育成し、その間、計測項目を設定して計測する。		R4～R7	
2) 計測結果を総合的に評価して最終的に優良系統を選抜し栽培保存する。		R4～R7	

### 7 当年度研究実施計画

- 1) 試験供用系統の計測（4月）
- 2) 試験供用苗の管理（特に根茎拡大防止用仕切り板の設置）

3) 早晚性調査 (3 月)